



## 第 32 回 日本消化器関連学会週間

### Japan Digestive Disease Week 2024 ( JDDW 2024 )

#### ーメディカルスタッフプログラム開催についてー

JDDW 2024 は、2024 年 10 月 31 日(木)～11 月 3 日(日) の 4 日間、神戸市 (神戸コンベンションセンター) において開催されます。

第 32 回日本消化器関連学会週間には、第 66 回日本消化器病学会大会、第 108 回日本消化器内視鏡学会総会、第 28 回日本肝臓学会大会、第 22 回日本消化器外科学会大会、第 62 回日本消化器がん検診学会大会が参加となります。

JDDW 2024 では、JDDW の医師とメディカルスタッフで、チーム医療を考えることを目的に、「メディカルスタッフプログラム」を開催いたします。

#### ◇メディカルスタッフプログラム

1. 医師の働き方改革とチーム医療【公募・一部指定】  
司会： 大西 洋英 (労働者健康安全機構)  
佐田 尚宏 (自治医大・消化器一般移植外科)  
日時： 2024 年 11 月 1 日 (金) ※会期 2 日目 9:00-12:00  
会場： 第 13 会場 (神戸国際会議場 国際会議室)
2. これからの地域医療を支える多職種連携【公募・一部指定】  
司会： 仲瀬 裕志 (札幌医大・消化器内科)  
松島加代子 (長崎大病院・医療教育開発センター)  
阪上佳誉子 (インフュージョンクリニック・看護部)  
日時： 2024 年 11 月 2 日 (土) ※会期 3 日目 14:00-17:00  
会場： 第 13 会場 (神戸国際会議場 国際会議室)

#### ◇演題申し込み

【公募・一部指定】セッションについて演題応募をお待ちしております。奮ってご応募下さい。  
演題はホームページからの応募となります。詳細は JDDW 2024 ホームページ「演題応募」をご覧ください。  
応募に際しては、「主題演題のみの応募」のボタンからご応募下さい。  
<https://www.jddw.jp/jddw2024/endai/index.html>

※応募締め切り **2024 年 3 月 19 日 (火) 正午**

#### ◇参加登録費

メディカルスタッフの参加登録費は、申請書 (施設長、または部門長のサイン必須) の提出により、5,000 円となります。参加登録後は、入場会場に制限無く、JDDW 全セッションに参加いただくことが可能です。各学会の単位対応については、各学会事務局にご確認下さい。  
なお、一般の参加登録費は、20,000 円です。  
詳細は JDDW 2024 ホームページ「メディカルスタッフプログラム」をご覧ください。  
<https://www.jddw.jp/jddw2024/medical/index.html>

#### ◇お問い合わせ先

JDDW 2024 演題処理窓口  
ホームページ: <https://www.jddw.jp/jddw2024/index.html>  
E-Mail : [endai2024@jddw.jp](mailto:endai2024@jddw.jp)

# JDDW 2024 メディカルスタッフプログラム

## メディカルスタッフプログラム 1

「医師の働き方改革とチーム医療」**公募・一部指定**

11月1日（金）9：00-12：00 （第13会場）

司会：大西 洋英（労働者健康安全機構）

佐田 尚宏（自治医大・消化器一般移植外科）

### 【司会の言葉】

いよいよ2024年4月より医師の働き方改革の新制度が開始となる。本制度では医師の業務の一部は看護師、薬剤師、検査技師などメディカルスタッフへタスクシフトされることになると同時に、各職種メディカルスタッフ間でのタスクシフトも必要となる。よって、医師の働き方改革はチーム医療へ大きな影響を及ぼすことは必定である故に、2023年度は各病院で医師の働き方改革に対応するための各種取り組みと同時にチーム医療の新たな在り方が模索されている。本セッションでは、この新制度下におけるチーム医療の在り方についての検討状況を、各職種のメディカルスタッフならびに医師からご発表頂き、チーム医療の新たな在り方について議論を深めたい。尚、本演題募集期間は医師の働き方改革制度開始前のため抄録には検討状況を記載いただき、発表時には新制度開始後およそ7か月を経ているため、その時点での現状ならびに課題も含めた発表と討論を期待したい。

## メディカルスタッフプログラム 2

「これからの地域医療を支える多職種連携」**公募・一部指定**

11月2日（土）14：00-17：00 （第13会場）

司会：仲瀬 裕志（札幌医大・消化器内科）

松島 加代子（長崎大病院・医療教育開発センター）

阪上 佳誉子（インフュージョンクリニック・看護部）

### 【司会の言葉】

医療の進歩や高齢化社会の到来に伴い、様々な疾患に対する専門知識と技術が必要となってきた。そして今、医師や **medical staff** が連携して、総合的に患者を診る多職種連携の時代がきたといえる。多職種連携には、専門職教育とチーム医療の体制構築が不可欠であり、個々の医療者の専門職としてのトレーニング、コミュニケーションスキルの向上、組織としての情報共有の仕組みを確立させることが重要である。一方で、地域医療を充実させることが、今後の日本における必須の課題であり、**SDGs** のコンセプトからも、その将来を支える鍵は多職種連携である。地域医療において持続可能で質の高い医療を実践し、患者一人一人の背景を考慮した全人的なケア、ならびに安心・安全な医療をもたらすため、我々が消化器分野で取り組んでいくべき課題とは何か？このセッションで活発に議論したい。各消化器分野の **medical staff** からの応募を期待する。